発行所 赤池町役場

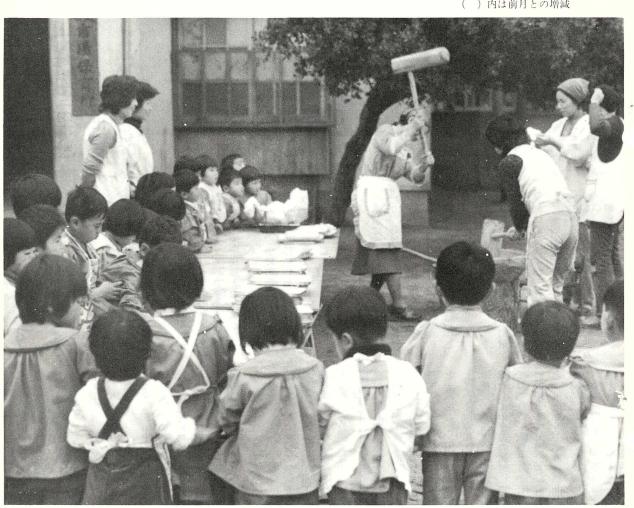
編集 総務課 文書広報係 ☎ (代表) 2004

印刷所 赤 池 印 刷 毎月 1回発行

町の人口 人 口 9,318人 (増28) 4,455人 (増15) 4,863人 (増13) 世帯数 2,918世帯 (増 2)

転入 53人 出生 15人 死亡 7人 転出 33人 (52年11月末日現在)

()内は前月との増減



(市場保育所の子どもたち・12月16日)



1978 (午)

あけまして おめでとうございます

冷たい若水で顔を洗い、ひきしまったほほはほんのりとそよぐ暖かい湯気。コマツ菜に ダイコン、カツオブシとコンブのだし汁。お雑煮のふたを開けると初春の香りがプーンと 立ちのぼってきます。 明けましておめでとうございます。昭和53年をめでたく迎えまし た。今年こそ落ち着いた平和な年でありますよう祈念いたします。 (写真) は子どもたち の見守るなか、お母さん方が楽しそうに"もちつき"をしているところです。

は四支所、

館で熱戦が展開され、

男子チ

まで)準決勝からは町民会館体育

がそれぞれ優勝を飾り

15 10 18 19 支 支 支 所 所

ルはまちまちでした

毎週一回、伏原から町民会館

15

支所(女子チ

優

第9回町民バレーボール大会・

日(日)町民会館体

育館において、

第九回町民バレ

成績は次のとおりです。

5

○優勝女子チームの声……

んの理解と援助のおかげです

公民館長、四支所の住民皆

れもママさん選手、青年会、ことさらによくやったと思う。

ル大会が開催されま

参加チ

>加チームが急増したため、男子今回は前回(八回)大会よりも

ムは町民会館体育館、

女子

7 12 14 4 支 支 支 支 所 所 所 所

まれたのは四年前のこと。

しかり

ルを持つのははじめてと

う人ばかりで、

で優勝できたことを嬉し

一般女子の部

思えば伏原ママさんバレー

4支所(男子チ

新年のあい

町議会議長

あいさつを申し上議会を代表して、

したで、誰んで新年のご

麻

豊

明る

LI

)田園都

市

を目ざして

町 長 池 永

「同対法」と「四事業」

住民生活の安定をめざす

の強化廷長

五十三年の新春を迎え町民

3

(希望の1978年・安心して住める明るい住みよい町に!) 上野白雲ラインより飯塚方面を望む。

このようなことから、

昭和五十三年の年頭にあたり町 地方財政の確立に努力してまいり 政の危機は免れることが出来な 本町もそのあおりを受け、町財

昭和五十三年は、 まず「同対法 を心からお祈り申し上たり、町民皆様のご多

企業倒産は目をおおうほどのもの内に世界経済を大きく揺れ動かし 昨年は日本経済の大きな変動の 希望に満ちた新春を迎えるにあ げます。 幸とご健康

どうか、町政に対す

と一致協力し、国、県に対し対処将来の展望を見いだすべく町行政 層明るい田園都市を目ざし、町の 及び「四事業」 ガンに町議会と く所存であり しては、 なお

域としての今後の問題につきま 確立に邁進していきたいと思いま の問題として町議会並びに町 住民の皆様の生活安定と産炭地

赤池町役場

我々町議会と

く、皆さんの日常生活に大きな打不況と円高により企業の倒産が多 撃を与え、昨年はまことに苦し 々を送られたことと推察いたし このところ日本経済は全国的な

ウンドの整備、ボタ山災害防止事整備、工場団地の造成、総合グラ 福祉にこたえるべき事業も十分に政事情もきびしい年であり、住民 宅の建設、学校の新改築、 同和対策事業など、広範にわたっ 地区下排水、 大のような中で公営住赤字決算となりました。 失業対策事業 本町の財 道路の

なる目さすことを柱として、財源のでは多いたいと ことが予想されます。赤字解消と段ときびしい経費節減の年になる 健全財政を堅持し、 今年は本町にとっては、また 住民生活の安

し、推進していきたいと思ってお体の運動として政府にむけて陳情 造成や道路の整備、 の強化延長をより一層、 の整備及び同和対策特別措置法 失対)の強化、 四事業(緊就、開就、

林畜産業など安定させるための事水道や下水路の整備、商工業や農また、教育施設の整備充実、上 もそれぞれ充実拡大をはかりた

、総合グラウン

え、懸命に努力を続けていく覚悟

の生の声を国、

県に対

心から

福祉増進に重点をおいているよう子算編成をしており、公共事業と子の子算は、今年も十五ヵ月のいと考えております。 にあります

の強化延長をスロ たします。 ご多幸であり そそぎ、産炭地の実情と住民一人ためにも四事業と社会福祉に力を

解とご協力を心からお願い申し上していく上にも、町民皆様のご理 自治財政の確立を将来にむけ 明るい住みよい町づく。であります。 今年は町民の皆様にはます

つといたしまして、新年理解とご協力を賜りれ 新年のごあいさ

あけまして

おめでとうございます

赤池町農業委員会赤池町教育委員会

赤池町選挙管理委

年会を中心に九人で戦っただけにムであったが、今回は四支所の青前々回に優勝した時は混合チー A 今月の こよみと行事

からにぎるようになった。

年のはじめに家庭や多い名を見している。 (むつき)

とが、 ことを略したもの。 互いに睦みあいをかさねる互いに睦みあいをかさねる

田(田) 少年法施行の日 元旦・初詣・歳旦祭

2日(月) 初荷・書きぞめ・初夢 ル法施行(昭34)

皇居一般参賀

福岡筥崎宮玉せせり

3日(火)

官庁ご用始め

れも監督やコー

また練習相手

かいあって力はだんだん向し

で雨、風、

雪の日

練習に通っ

8日(日) 消防出初式(中学校於)

15 11 日 日 水 鏡開き

成人の日・ 玉年賀はがき抽選会

私たちの健康増進と親睦のためにこれからも週一回の練習を大切にこの優勝した喜びを忘れずに、

の協力にも感謝しています

ちのおかげです。

それに主人たち

して下さった伏原青年団の人た

17日(火) 家庭の日 心配ごと相談日

日(金) 行政相談日 (役場旧第二公民館)

て東京京橋局に設置て東京京橋局に設置

20

27日(金) 国旗制定記念日

進のための講座を開く予定にして 力について」等皆さん方の健康増一部では審判講習会や「栄養と体

参加下さいますようお願いいたしいますので、その時は誘い合って

(体協バレー部)

▽目標に向かって前進せよ△

表 平 家 れんされ森は呂志 ウマ年ねえ たおきてにかりのり あかえり 100 下りはものますできない。 ウマリン The state of the s

今男子チ 18 16 支 所 にしかにぎったことのない私たちバレーボールを中学・高校時代ここまでやって来たものだと思う。 〇優勝男子チ ママさんバレーの練習をみて ムの声

月 **27** 日

(5) 第180号

0

50

0

第180号

昭和51年度一般会計款別歲入歲出決算状況

(歳			入)				(歳		出)		(単位	立千円)
X			分	予 算 額	決算額	構成比	区		分	予 算 額	決算額	構成比
1. 町	4 4		税	107,579	109,134	3.9	1. 議	会	費	37,843	37,698	1.3
2. 地	方 譲	与	税	8,425	9,238	0.3	2. 総	務	費	191,524	184,556	6.4
3. 娯	楽施設利	甲税交	で付金	438	413		3. 民	生	費	525,056	429,038	15.0
4. 自	動車取得	税交	付金	9,619	10,343	0.4	4. 衛	生	費	75,533	68,606	2.4
5. 地	方 交	付	税	835,230	828,587	29.4	5. 労	働	費	731,847	721,194	25.0
6. 交i	通安全対策	特別亥	で付金	620	646		6. 農	林水质	産 業 費	185,525	179,052	6.2
7. 分	担金及	び負	担 金	33,553	34,421	1.2	7. 商	I	費	4,008	3,789	0.1
8. 使	用料及	び手	数 料	16,909	16,219	0.6	8. 土	木	費	485,041	419,748	14.6
9. 国	庫 支	出	金	920,900	823,957	29.2	9.消	防	費	41,773	41,599	1.4
10. 県	支	出	金	372,273	365,612	13.0	10. 教	育	費	265,094	254,355	8.8
11. 財	産	収	入	81,120	2,125	0.1	11. 災	害 復	旧費	183,364	182,748	6.3
12. 寄	付		金	2,001	2 200	0.1	12. 公	債	費	246,888	243,645	8.4
13. 繰	入		金	1			13. 諸	支	出 金	90,788	89,462	3.1
14. 繰	越		金	1		a Mala	14. 子	備	費	1,960		
15. 諸	収		入	76,635	44,230	1.7	15. 繰	上 充	用 金	28,660	28,660	1.0
16. 町	1 2 23	17, 5	債	629,600	573,800	20.3		1.0 - 1.0		1 1		
合	E E		計	3,094,904	2,820,725	100.0	合		計	3,094,904	2,884,150	100.0

▼その他事業(七百二十七万七千 円)道路 ※農機具購入及び保管庫建設工設工事 ※防火水槽設置工事 同和対策事業(四億三千八百五 万一千円)赤池中学校・道路 域開発就労(工場団地造成)事道路改良舗装)事業 ※産炭地 災害復旧事業(一千 義務教育施設整備事業(六千 般単独事業(一千七百七十二 道路改良舗装工事 ラウンド整備) 事業 上野橋架設工事 ※かんがい工事 ※下排水路整備工事 ※同和向公営住宅建設工事 ※特定地域開発就労(総合 万八千円)上野校新改築 八千円)老人身障向九三 水道) 工事 ※緊急就労対策 ※産炭地 ※水路改 ※鉱害

昭和51年度特別会計決算状況

(単位千円)

()

◎事業費総額十六億六千九百二十なお主な事業は次のとおり……

0

六万二千円(構成比5·9%)

般公共事業(九億五千三百三

区分	歳		入	歳		出	歳入歳出
	予 算 額	決 算 額	比 率	予 算 額	決 算 額	比 率	差引額
町立病院事業	355,477	325,608	91.6	355,477	351,667	98.9	△26,059
上水道事業	57,570	45,885	79.7	57,570	90,130	156.6	△44,245
国民健康保険事業	159,252	146,751	92.2	159,252	139,970	87.9	6,781
赤池橋架設準備積立金	711	711	100.0	711	711	100.0	0
上野簡易水道事業	18,710	14,608	78.1	18,710	14,413	77.0	195
住宅改修資金貸付事業	22,701	22,664	99.8	22,701	21,371	94.1	1,293
地域開発事業	31,434	31,435	100.0	31,434	31,433	99.9	2

電気税 、歳入二十八億二千七十二万五昭和五十一年度一般会計の決算 たばこ消費税 軽自動車税 町民税 五 町税の税目別区分は次のとおり で大きく下回っておりまーセントとなっており、 Cで、歳入総額に対して三・ 特別会計決算状況】 概要を公表いたします 51 税決算額は一億九百十三万四 その結果、歳入歳出差引六歳出二十八億八千四百十五 ¬算の執行状況を中心にして、 -九月末)までにおける歳入 一般会計 年 六百三十万五千円 度 二千九百二十一万 決算 一千四百九十万 算の上半期 財 五万六千 52 政 町税 (3.9%) 算状況は別表のとおりです。昭和五十一年度においては七つ 年 **→** (4.3%) 住民1人当たりの 12,962円 度 地方交付税 計 事 目的別支出額及び歳入状況 CHE CHE 町民 (29.4%) 89,771円 (注)人口は住民基本 台帳人口とし、昭和 負担 上 億九百· 情 (13.0%) 39.611円 52年3月31日現在の 歳入決算 半 9,230人を用いた。 住民1人当たり 07 消防費 (1.4%) 0 期 305,604円 十三万四千円 町 状況 債 民生費 4,507円 (20.2%) 労働費 (14.9%) 46,483円 国庫支出金 (29.2%) 62,167円 予 (25.1%) 78,136円 表 教育費 算執行 89,269円 (8.8%) 27,557円 歳出決算 別表に示したとおり上半期分)】 【昭和五十二年度一般 住民1人当たり 会計予算執行状況(土木費 その他 (1.1%) 312,476円 衛生費 →諸支出金 學等於 (14.6%)状 (2.4%) (3.1%) 9,693円 45,477 P (6.3%) 19,799円 3,516円 機 機 (6.2%) (6.4%) 19,995円 7,433円 公債費 況 (8.4%) 26,397円 昭和52年度一般会計予算執行状況(S52. 9. 30)

()	歳				入)				(j	炭			出)		(単位	立千円)
	区				分	予 算 額	収入済額	執行率	9	<u>X</u>			分		予 算 額	支出済額	執行率
1.	町	7.	1 1 2		税	113,001	61,875	54.8	1.	議	8	会		費	38,422	17,891	46.6
2.	地	方	譲	与	- 税	7,947	3,655	46.0	2.	総		務		費	193,802	85,175	43.9
3.	娯	楽施	設利		を付金	597	199	33.3	3.	民		生		費	745,156	186,788	25.1
4.	自	動車	取得	税亥	付金	9,635	4,308	44.7	4 .	衛		生	. F	費	66,450	33,988	51.1
5.	地	方	交	个	税	908,370	605,075	66.6	5.	労		働		費	611,520	169,008	27.6
6.	交:	通安	全対策	特別	交付金	740			6.	農	林	水産	業	費	173,026	40,837	23.6
7.	分	担金	金及	び負	担金	50,617	22,027	43.5	7.	商		工		費	5,644	2,505	44.4
8.	使	用制	斗 及	び手	数料	17,290	7,688	44.5	8.	土		木		費	347,478	54,633	15.7
9.	玉	庫	支	出	金	821,695	186,509	22.7	9.	消		防		費	30,752	22,992	74.8
10.	県	4	支	出	金	415,748	22,215	5.3	10.	教		育		費	283,796	86,197	30.4
11.	財		産	収	入	2,226	690	31.0	11.	災	害	復	旧	費	277,309	5,470	2.0
12.	寄	J.	付		金	1			12.	公		債		費	216,158	114,403	53.0
13.	繰	48	入		金	1			13.	諸	5	支	出	金	47,832	24,515	51.3
14.	繰	13	越		金	1			14.	予		備		費	2,000		
15.	諸	1.1	収		入	115,076	14,562	12.7	15.	繰	上	充	用	金	70,000		
16.	町		/		債	646,400											
	歳	入	1	合	計	3,109,345	928,803	29.9		装	出	合	計	-	3,109,345	844,402	27.2

昭和53年1月1日 (6) 新年

新年を迎え、 一年間交通事故に遭遇 【飲酒運転を追放 ることなく過ごしま

の交通事故防止を

んで守ることが必要です。

転しない。 酒を飲ん

には酒を 又車を運 を守る 飲ませな

が守

* *

【悪質危険な運転者を すためには、交通規則を守る以 共に警察へ通報して下さい なるべくさけなければなりませ い危険や迷惑をかける運転者は 交通規則を無視し、他人に著 外に道はありません。 ん。お互いの協力で監視すると

必要です。狭い踏切りは専に注意が断機のない踏切りは特に注意が 警報機や 道こそ安 左右の安全

PHT

【交通規則 はお互い が自ら進

理に通らず、

ご協力をお願いいたします。は大変ご迷惑をおかけしますが つきましては、 〈通行止め区間〉

赤池線の一区間が全面通行止め日より三月三十一日まで県道八幡

野橋架設工事に伴い、

一月十

になります。

11 the 通行止カ所図 里口 エバス停 0 全面通行止め 意~ 橋山~川・ \approx →上野橋架設中

通行止めのお知らせ

県道八幡~赤池線の一区間

1月10日~3月31日まで

第180号

【踏切りでは安全確認をする】 人も車も一旦停止、

住民の皆さ

●灯油苦情処理窓口一覧

〈灯油についての業界に対する苦情相談は灯油相談所へ〉

灯油に関する苦情や相談に応じるために業界の協力を得て県下各地区に「灯油相談所」を設けましたので、 どうぞ御利用ください。

ガソリンスタンドに対する苦情・相談は

福岡市中央区渡辺通2丁目1-82 TEL (092) 751-5667 北九州市小倉北区浅野町 2-15-1 TEL (093) 521-2681 嘉穂郡穂波町忠隈 105-1 TEL (09482) 2-7890

福岡市東区大字箱崎字松田571 直方市大字頓野字羽高2777の1

福岡県食糧販売協同組合連合会 福岡市中央区天神4丁目6-7

福岡市博多区奈良屋町10-2 北九州市小倉北区馬借町3-7-83

煉炭店等に対する苦情・相談は 九州煉炭工業会

九州燃料株式会社

久留米市繩手町350

TEL (0942) 33-2287

TEL (092) 611-8540

TEL (09492) 4-6011

TEL (992) 771-1731

TEL (092) 291-3579

TEL (093) 521-4698

「ドリーム」 住 史 典 田 さん



〇뚖励賞 三角勝一 三宅嘉一 ルジアでもある。

益々作画向上に向け頑張ることを 五十三年度の計画を樹て、来年もて、昭和五十二年度の事業報告、 て、昭和五十二手ぞう~…十二月九日(金)町民会館におい

○ 年度賞

なお今年度作画に努力した優秀

国民年金だより

国会議員互助年金

保険料の免除制度

農林漁業団体職員共済組合

8

「成人の日」と国民年金 五日は「成人の日」

を守る国民年金にも加入できるよ禁になるわけですが、将来の生活選挙権を初め、酒、タバコも解 の日、 立っていきます。

だ先のことのように考えられがち ですが、将来受け取る年金は加入 つになります 「年金」といいます

厚生年金など他の公

定額保険料は五十三年三月まで

(7) 第180号

う。ただし、厚生年金など他民年金への加入手続きをしま 的年金に加入している人は必要あ が早ければ早いほど有利です 満二十歳の誕生日を迎えたら国

日本全国で約百六十万人の

ます。その手続きをしておくには、かけ金免除のしくみが れなくなった方(強制加入者のみ) 金を受ける権利が保障されていま かけ金免除のしくみがあり

金で納めることができます。年前までさかのぼって当時のかけては、将来生活が回復した時に十 また、免除を受けた期間につい

貸付金制度

寡婦福祉

わしいことは役場福祉係へ。

ます。上現在、現在、 般世帯とくらべてその格差が目立 人が七十パーセントもいて、一す。しかも年収が六十万円未満 一百四十万人と推定されてい
仕、四十歳以上の寡婦は全国

年四月からは二千七百三十円とな は一ヵ月二千二百円です。五十三 ちます。

金など十二種類もの「寡婦福祉貸にした、子どもの教育費や生活資 付金制度」という 〈貸付けの決定〉 貸付条件は次のとおりです。 ものがあ

昭和53年1月1日

「写団ファミリ

納

会

福岡二科所属)の作品です。住田史典さん(福岡県美術協会員

ります。年金額は物価の変動(五

ム』アッという間に過

にスライドされますから目減りの

セント以上)に応じて自動的

心配はありません。

他の公的年金とは

て会発足以来指導にあたっている

今月は一年間のしめ

最優秀作家賞に桑野さん

品を贈った。

楯、

記念

たずんでいたい。 息子をモデ晩夏の日差しの中に、 もう少

①厚生年金保険

②船員保険

3

都道府県知事が貸付申請書を審

た私自身の少年の頃へのノスタ

⑥公共企業体職員等共済組合⑥公共企業体職員等共済組合

(住田)

出が一杯つまったカバンを抱いてぎてしまった夏休み、楽しい想い

〇最優秀作家賞 桑野博明

12

月

例

会

0

10

1

償還をすることができる。 ばこなする。ただし、いつでも繰上 法とする。ただし、いずれかによる元利 査のうえ、決定する。 年賦、半年賦または月賦償還の

らない。 る人は、保証人を立てなければな ①資金の貸付けを受け 〈保証人及び連帯債務〉

②保証人は、貸付けを受けた者 その保証債務は違約金も含む る。

ものとす

修学資金、就学支度資金の貸付ける事婦が扶養している子どもの ければならない。 については、その母と子が連帯債 る借主として加わ



エンゼルは天使のつかいです

A輪島 B北の湖 C若三杉

ル大会男子の優勝チームは?

A一の糸 B二の糸 ©三の糸

いのは何番目の糸?

〔応募の要領〕

【第16回の解答】

【正解者】

ませんでした。

A窒素 B酸素 C炭素

Aソ連 Bポーランド ○日本 3、日本の国鳥とは、どんな鳥?

1、大相撲九州場所の優勝力士はだれ?

2、1977年ワールドカップ・バレーボー

4、三味線の弦は3本 さて細くて調子の高

5、人間の吐く息で、いちばん多い元素は何?

正解のABCいずれかの記号を官製ハガキ

に記入のうえ、1月18日までに赤池町役場総

務課文書広報エンゼルクイズ係までお送り下

抽せんで正解者3名様に記念品を贈ります。

さい。なお住所、氏名を明記して下さい。

▷例 問題1 B 問題2 B 問題3 C

1 B 2 C 3 C 4 B 5 B

今回の応募総数23通のうち、正解者はあり

※今回の主なあやまり箇所は、問2のペッパ

一警部のところでAのコショーのところでし

あなたに幸ありますよう……

エンゼルクイズ

【第17回出題】

[問題]

利子所得や配当所得、

原稿料など

るものですから、必ず受け取って消費税を納めたしるしにお渡しす

旅券(パスポート)を申請する増加しています。

海外渡航者が増加し、そ

申請の手続きは!

人は次の書類が必要です。なお申

①五十二年の所得が少ない人で

れなく添付し

して下さい。

この場合、還付に必要な書類はも

飲食店の三種類があります。公給領収証には、料理店、旅館

この公給領収証は、料理飲食等

告は一月から受付けていますので、

目に申告して下さい。

五日までですが、還付申

なお、確定申告は二月十

六日か

公給領収証は必ず

お受け取りくださ

旅券

78

スポート)

ことにより税金が

かえり

次のような人は、確定申告をす

除などを受けることができる人。療控除、寄付金控除、住宅取得控

③五十二年の中途で退職した後

▽料亭、

料理店、

カフェー、

▽必要書類

②給与所得者で、雑損控除や医

下さい

す。料理飲食等消費税は次のとおり

なりません。 請も受取りも

電話〇九二一

七四

福岡県渉外課旅券係

確定申告は

の十

3 月

15

日までに

飲食店、

スタンドバー、喫茶店

旅館での飲食は二千円を超えた

料金の百分の十

十二年分源泉還付申告の受付をい田川税務署では一月から昭和五

受けなかった

円を超えた場合、料金(基礎控

除)千五百円の百分の十

票、

旅行引受書

田川財務事務所

出張命令書 業務の場合 就職しなかった人で、年末調整を

定申告の必要がなくなった人。④予定納税をしている人で、確

近代の名匠達

れた虚子をして春の如く夏の如くで神話の国出雲の産、俳聖といわい手、原石鼎は明治十九年生まれい 谷の景色を改め締きしめている感 ○高々と蝶こゆる谷の深さかな豪華と言わしむる。 と飛んでいるように見え、一つ層谷にさしかかった蝶が急に高々 先達の名句を 達の名句を少し掲げてみたい。われわれが常に目標にしている 石 鼎

猪威しを作り番小屋で夜っぴで篝は常に猪害に悩まされ、そのため 甘んじている者と居る。在所の者故郷を離れ難く思い山家暮らしに は常に猪害に悩まされ、 さっさと都会へ出てしまう者と

○淋しさに又銅鑼うつや鹿火屋守 ないますがいやり ないな感じがする。 ていると、折から春月がうすうす谷を見下ろす辺りの風呂に浸っ と射し、うつ然とした茂みが迫っ 見はるかす気分は もので

その樹に対して調和

石鼎の俳句、そのして孤独に耐えてい

違いがあるだけである。使するか、よりよく行使 実感を満たし、明日への活力の源 凌ぐとさえいわれている。 もあるもので、 るといわれている。創造は内に充 折角の然も短い なる。創造の活力本能は誰にで よりよく行使するかの ただぼんやり 人生を積極的に

初心者の

て下さい。消化の悪いもの、刺激です。ここらで慰労会をしてあげら正月と胃はかなり疲れている筈

豆腐、白身の魚、柔かく脂肪のなの強いものをさけて、スープとか

い肉などを少なめに一日四、

よくかんで食べること

の老婦人のいわくに、こ が経ってしかも今なお同じ鉢でこたもので、あれから五十年の歳月 ることをつくづく感じさせ 年でも枯れることなく生き長ら えよければ同じ鉢に五十年で ますといっていました。手入て秋には紅葉して楽しませて のとおり毎年春には新緑を、 が当家に嫁にきてすぐ 誌に小品盆栽ばかりの誌上展示これは余談ですが、昨年ある みました。その中に盆樹はたし この樹は私 昨年ある雑 この持主 人が植え 入れさ そし

○頂上や殊に野菊の吹かれをり

誰もが経験ずみで心地よいも思うもので、見はるかす 〇風呂の戸にせまりて谷の朧かな ある。ふもとの野菊が吹かれてい 丘があれば登ってみたいと誰し

のである。物欲だけに自己を駆り に真に生き甲斐を見い出したいも生む、思考する、或いは創造活動 たてるのは何か佗しい。

ますます胃を荒すばかりです。すが、こんなのはもってのほか、ながらお酒を飲んでいる人がいま

炎症を起していなくて

も、暮か

※毎週木曜日、夜七時一歩居に

によいて、あるいは型におい に対して劣っていて樹と に対して劣っていて樹と ても、もしこれを直してあったなに盆栽が名にあう銘品であった。 まうのでありましょう。盆栽の観賞価値は数段と劣ってし の形には変化がないのですが、 長年持ち込んで完成した盆栽を

いいましょうか、もう観賞価値これがいわゆる武士の裃姿とで の整った鉢合ができたと 万点で、どこの展示会に出品して これまた最も

なのです。

をねぎらってあげるのが、あなた栄養のあるもので優しく日頃の労

ないのはかえっていけ

いう負担のかからない、

しかも

ただ慰労会といっても全然食べ

第180号

になります。

これまでは盆栽の鉢といいます

かしいのは鉢の大小、また鉢の深の一つに鉢があります。更にむずる栽培養の中で最も大切なこと

本製としては有田、備前、瀬一鉢には支那焼も含まれており、

瀬戸、

常滑等の釉物体があります。

ものがあると聞いております らの釉物焼の中には相当な高価な

どんな鉢に植えても樹そのもの

盆樹と鉢との関係

趣味の

には朱泥、

代、紫泥、鳥泥、白泥等色インディ、ウディ、ウディ、ウディ、ケアイ・インディングディング

々あります。

このほかに釉物鉢があり、

釉物

中に培養を目的とした素焼鉢が 栽の鉢として陶器鉢があり、

盆栽と園芸

郎

しか売られておりません。

まず

その

店でも一般的に使用される型の鉢

大体の型が決まっていて園芸

(5)

俳

包

石 鼎

て句会を行っています。 ご参加をお待ちしています。

ときにド

その詩魂は白秋を を打ち鳴ら 人間の

成 池 1月15日(B) AM10:00 赤池町民会館大ホール

(昭和32年4月2日) 昭和33年4月1日)

休みをとって静かに体を休めるほ

よくバーなどで、胃の薬を服みが、はるかに早く回復します。

休めるか」とおっしゃるでしょう。 きっと「胃が悪いくらいで勤めを 休んだことがおありでし

薬を飲み出勤す

あなたは胃が悪いからとお勤め

胃の慰労会をしょう

の出生者

豆

辞

くらし

0)

福祉センターの行事

- ○〔1月の休館日〕 1日、2日、3日、9日 17日、23日、30日 ○〔演 芸 日〕
- 5日、8日、12日、15日 19日、22日、26日、29日
- ○〔福祉バス運行予定日〕 8日、15日、22日 (日曜日) ○〔仏教法話会〕

13日、午前11時

④渡航費用を確認する書類 ●観光の場合次のいず ②戸籍抄(謄)本 ①一般旅券発給申請書 預金通帳、前年度の源泉徴収観光の場合次のいずれか一つ 上半身。無背景。無帽) 一通 二通

お

- ⑤身元を立証する書類 運転免
- ▽交付までの所要期間⑥印かん ▽お問合わせ先)以降こをす。 当日が公休日の場合はその翌日)以降に交付 許証又は健康保険証

ありがとう

 金
 金
 金
 金
 金
 金
 金

 封
 封
 封
 封
 封
 封

 〔香典返し〕敬称略 奥浦屋兼行 (原) 富安信一郎 (高尾) 公仁(上野病院住宅内) 正之 (直方市) ヒサ (上小路)

晴美 (市場) * *

* 高太原 * 林田田 社会福祉協議会

ございました

▽応募資格

機械製図科 二十人 自動車整備科 三十五人

▽募集人員

門司海員学校生徒募集

年度の生徒を次のとおり募集しま 国立門司海員学校では、五十三

電話〇九四八二一②—四〇一八 飯塚総合高等職業訓練校又は最 寄りの公共職業安定所

▽申込先・問合わせ

▽募集期間 卒業見込み」の男女 次 一月二十日(金)まで

二十五歳未満で、「高等学校卒業 一次 三月二十二日(水)まで 又は五十三年三月「高等学校

▽申込み・問合わせ 多区中洲中島町福岡フジランド 福岡県衛生部医務課(福岡市博 一月二十五日~二月二日まで

道課(電話二〇〇四)までご連絡

③破裂した場合は、至急役場水

して下さい。

9

ぬるま湯を除々にかける。

知 5 お せ 忘れないで心にとめて おきましょ う。

▽申込み・問合わせ ▽願書受付期間 二月十日(金) ▽ところ 北九州市門司区 ▽とき 二月十九日(日) 電話〇九三―三四一―八一三二 白野江町) 門司海員学校(北九州市門司区 中学校卒業以上のもの

自治医科大学

▽科別及び定員(一ヵ年)

募集します。

五十三年度の訓練生を次のとおり

飯塚総合高等職業訓練校では、

高等訓練生の募集

▽募集人員 百人 ▽出願資格 の学生を次のとおり募集します。 自治医科大学では、五十三年度

九時~十一時三十分 ると認められる者 たはこれと同等以上の学力があ 十三年三月卒業見込みの者、ま 高等学校を卒業した者および五

とを絶ちません。

るため、次のようなことに注意し

このようなことを未然に防止す

て下さい。

裂したりして、あわてる家庭があ の凍結で水が出なくなったり、破

例年きまって一、二月は水道管

▽第一次試験 二月十二日(日) ▽願書受付期間 ▽第二次試験 三月十日(金) 八時五十分~十七時十分

ナワか厚地の布を巻いておく。

①あらかじめ水道管のろ出部に

②もし凍結したら熱湯でなく、

▽受験資格 五十三年四月一日現在で十五歳 以上十九歳未満のもの、または

学生の募集

▽お問合わせ 電話〇九三―五二一―二一四〇 時~十六時まで (無料)

▽弁護士相談日 毎週金曜日十三 ▽毎日(日祭除く) 九時三十分~ のでご利用下さい 決に無料で相談に応じております 十六時三十分まで ※土曜日は正午まで 小倉自動車保険請求相談センタ

水道管の凍結に ご用心を!

電話〇九二—二九一—七五三六

自 動 車 保 険 相 談

ター」では、交通事故被害者加害

「小倉自動車保険請求相談セン

者の保険請求方法民事諸問題の解

司ちゅう科 約六十人

高等科 約七十人

年末、年始急患診療に従事する在宅当番医編成表

科別月日	内	科 ((小 児	科)	外	科	婦人科
12月31日 (土曜日)	田中医院(田川市弓削田)	村田医院(田川市古賀町)		宇都宮医院(金田町金田)	木村医院(香春町魚町)	莊山外院 (田川市新町)	
1月1日(日曜日)	津田医院 (田川市桜町)	加治医院(田川市栄町)	南野医院(香春町勾金)	田中医院(川崎町安真木)	柏村医院(川崎町田原)		
1月2日 (月曜日)		後野医院 (田川市東町)		向野医院 (川崎町弓折)			2010
1月3日 (火曜日)		大谷医院(田川市東町)	池 尻病 院	松本医院 (赤村赤)	宮城病院(添田町庄)		佐々木産婦人科 (田川市本町)